

交通ちば



VOL. 399 平成23年8月1日

千葉県交通安全活動推進センター
(財)千葉県交通安全協会連合会



後方から来る車の運転者に合図を出し、駐車車両の横を慎重に通過する

第48回交通安全こども自転車千葉県大会(県・県警察・県教育委員会・県交通安全協会連合会主催)が7月6日、幕張メッセイベントホールで開かれました。大会は、交通規則などの知識を問う学科テストと、安全で正しい運転技術を見る実技テストで行われ、参加13校のうち松戸市立小金小学校が、48回を数える大会で初の8年連続優勝を果たしました。同小 schools は8月3日、東京都江東区有明の東京ビッグサイトで開かれる全国大会に出場します。



13校の選手が整列して開会式を行う



学科テスト

松戸市立小金小学校が大会史上初の8年連続優勝
第48回交通安全こども自転車千葉県大会



踏切りでは左右の安全確認



ピンを倒さず走るジグザグ走行



県警音楽隊の演奏を聞く



2枚の板乗り走行、20cm幅の狭い板を通過する



右折の合図を出して



優勝した松戸市立小金小学校の皆さん

▽優良校 松戸市立中部小、同相模台小、同八ヶ崎第二小、同根木内小、流山市立南流山小、佐倉市立志津小、四街道市立みそら小。

▽優勝 松戸市立小金小▽準優勝 同八ヶ崎小▽3位 野田市立七光台小▽4位 同南部小▽5位 富里市立洗心小▽6位 野田市立中央小

交通ルールとマナーを守る心をこどものうちから育てよう、と始められた大会も今回で48回目になりました。県内各地の予選を勝ち抜いた13校65人の選手は、観客席の保護者、先生、友達、交通安全協会の役員などの声援を受け、懸命に競技に取り組みました。

最悪な夏休み

遺族・被害者、マナーアップ隊の手記

『自転車事故を無くすために』

匝瑳市 14歳 男性

僕は職業体験の打合せに友達と自転車で行きました。打合せが終わって友達を家の近くまで送り、自分も家に帰る途中、いつも通り慣れた十字路、早く家に帰りたいため気持ち焦って横から来た車とぶつかってしまいました。

そして、気が付くと田んぼに落ちていました。隣には誰だか分からないおばさんが口元にタオルを置いてくれました。その方は僕に救急車を呼んだからと言い、ずっと横にいてくれました。僕の足はしびれて動かさず、僕も動かず、頭に手を当てると手に血が付き、口の中も鉄の味がしました。

救急車で旭中央病院に運ばれ、少しするとお母さんが来て、僕はほっとしました。検査があり、その結果足が折れていると言われ、その日は入院をして翌日松葉杖と車イスを使い退院しました。松葉杖が上手に使えず、家の玄関に入ることが出来ず辛かったです。足のすり傷から透明の液が出てしやがなかった。

夜、トイレに行くのは危ないからと尿器でおしっこをしていました。お風呂もせまいので痛い足をぶつけたり。夏休みの毎日がベッドの上での生活となりました。

楽しみにしていた職業体験もできず、僕にとって最悪な中学2年の夏休みです。これからは絶対に事故にあわないよう、気をつけたいと思います。

(助千葉県交通安全協会連合会発行『自転車事故を無くすために』より)

7月20日現在県内の交通事故発生状況

区分	累計	前年比
発生件数	12,239件	-1,500件
死亡事故件数	85件	-5件
死者数	85人	-9人
負傷者数	15,024人	-2,007人

*発生件数、負傷者数は概数です。
*数字は平成23年1月1日からの累計です。

各地の交通安全活動ニュース

交通安全協会の活動にご協力いただきありがとうございます。会員の皆様の会費は、地元の交通安全協会ボランティア活動に活用されています。



東金

大網白里町立第二保育所で腹話術等でルールを教える。



鎌ヶ谷

東中沢のみちる幼稚園で交通安全教室を開き啓発する。



千葉西

園生小学校で道路を歩いて安全な道路横断を指導する。



茂原

五郷幼稚園で親子の交通安全教室を開催する。



松戸東

常盤平のひので幼稚園で安全な歩き方を指導する。



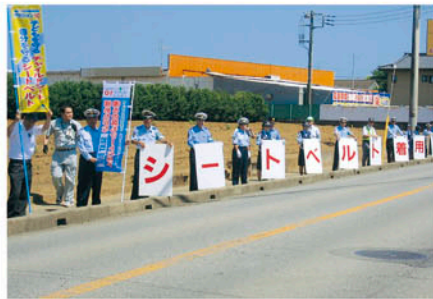
千葉南

おゆみーる広場で自転車の安全利用を訴える。



一宮

東浪見小学校で自転車安全教室を開催し啓発する。



佐倉

八街市の県道でシートベルト着用を呼びかける。



習志野

老人ホーム入居者の避難訓練で交通整理と誘導を行う。



勝浦

市内保育所7か所で交通安全教室を開催して指導する。



四街道

10日の交通安全の日に街頭広報を行い啓発する。



八千代

幹線道路でシートベルト着用キャンペーンを行う。



鴨川

鴨川自動車教習所で高齢者の参加実践型の教室を開く。



印西

千葉ニュータウンで啓発物を配り事故防止を訴える。



船橋東

芝山交差点でシートベルト着用を呼びかける。

流山交通安全協会



小高弘 会長

小高会長の話

「管内の人口は約16万6千人で、都心へ入り入れるつくばエクスプレスをはじめ東武野田線、武蔵野線など鉄道網が充実しています。沿線には住宅団地や、おたかの森駅を中心にアパートなどの大きな商業施設があり、これを囲むように住宅やマンションが建っています。特に、南流山駅やおたかの森駅は都心まで30分以内で出ることができ、「都心に近い緑の町」として発展しています。

大きな国道はありませんが利根川や江戸川沿いに主要道路があり、常磐自動車道や国道6号、16号へつながる道になっています。

流山警察署のご指導を受けながら活動を行っています。最近では自転車のマナー向上に力を入れていて、市内中高生の自転車通学生に対し、校門前で警察官と交通指導員と先生方が協力して実地指導を行っています。



小見賢一事務局長
宇佐美照江さん、大堀恵美子さん

高齢者対策にも力を入れており、テレビ番組をヒントにした「突撃！我が家の交通安全」は、警察官と交通指導員が高齢者宅を訪問し交通安全用品を配ったり、交通事故防止の要点を話したりする活動で継続して行っています。

市民の方に協会の活動を知っていただき一人でも会員さんが増えるように、優良運転者等の表彰をなるべく大勢の方に受けていただき、事故防止の意識付けを行っていきたくと思っています。地道な活動ですが続けていくことに意味があると思っています。」

小見事務局長の話

「これから暑くなり、交通指導員は炎天下に立ちますので健康に気を配り活動を支援したいと思っています。また、夏祭りや秋祭りが続きますが、地域の皆さんから頼りにされていますので、ふれあいを大切にしながら頑張りたいと思っています。」

交通指導員 平成23年上半期（1月～6月）の活動

平成23年上半期（1月から6月）における県内各地区交通安全協会の交通指導員の出勤回数と出勤人員は次のとおりです。

○ 駐車対策	382回	2346人	○ 街頭活動	6505回	36337人
○ 安全教室			・ チャイルドシート・シートベルトの着用指導	671回	3983人
・ 児童	1139回	3718人	・ 街頭監視		
・ 一般・高齢者	431回	1426人	○ 街頭広報	3605回	12262人
○ 自転車教室			○ 各種イベント	1338回	12629人
○ 祭礼警戒	379回	1709人	○ 会議・研修会等	911回	63373人
	969回	6523人	□ 出勤回数総数		
			□ 出勤人員総数		
			○ 会議・研修会等	911回	63373人
			□ 出勤回数総数	911回	63373人
			□ 出勤人員総数	87306人	63373人

交通安全ファミリー作文募集

- 応募期間 平成23年7月1日～9月10日（当日消印有効）
- 応募区分 ①小学生の部 ②中学生の部 ③一般（高校生以上）の部
- 応募方法 1200字程度。未発表のもので、一人1作品。
- 小学生の部及び中学生の部
 - ①内容にふさわしい題名 ②応募区分 ③郵便番号・住所 ④氏名（ふりがな） ⑤性別 ⑥学校名 ⑦学年 ⑧郵便番号・学校所在地・電話番号
- 一般（高校生以上）の部
 - ①内容にふさわしい題名 ②応募区分 ③郵便番号・住所 ④氏名（ふりがな） ⑤性別 ⑥年齢 ⑦職業等 ⑧電話番号 ⑨応募の動機（ポスター・チラシを見て等）
- 送り先 〒105-0003 東京都港区西新橋2-8-17 平家ビル5F (株)ネクストアイ内「交通安全ファミリー作文」係 E-Mail sakubun@next-eye.co.jp
- 問合せ先 (株)ネクストアイ内「交通安全ファミリー作文係」 TEL 03-6206-1314 内閣府政策統括官（共生社会政策担当）付交通安全啓発担当 TEL 03-3581-1182

